

『小町の里生産組合』が、「京都府農地・水・環境保全向上対策協議会」《環境保全型農業部門》において、平成30年11月24日に京都府知事賞を受賞しました。

平成30年度 京都府農地・水・環境保全向上対策協議会 優良組織表彰〈環境保全型農業部門〉



子ども達と田植え



地元住民や学生と共に生き物調査



学生と意見交換



生物多様性のために冬期湛水



京都府知事賞

京丹後市
小町の里生産組合

地域の人々と環境について考える
機会を提供していきたい。

- 冬期湛水の実施や地元の力・穀利用した土づくりなど環境にやさしい農業を实践
- 地域住民や大学生とともに田植え・稲刈り体験や生き物調査を実施し、環境について考える場を提供
- 活動を通じて、地域で環境にやさしい農業を实践する人増加



森本だより

第1号

平成30年12月発行

私たちは、有機質資材を使った土づくり、冬期湛水（※）の取組み、化学農薬の使用を控え、緩効性肥料を使用することにより、様々な生物が住みやすい環境の維持に貢献してきました。

今後も環境と調和した農業活動を実施するため、多くの情報を収集すると共に、地域住民や大学生と連携し、環境について考える意識を高めていく必要があると思っています。



（※）冬期湛水・・・冬期期間中に田に水を張り、微生物の生息地をつくる取組み